

ひかり

2017年12月号



日本聖公会 三光教会

第662号

〒142-0064 東京都品川区旗の台6-22-24

St. Mark

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/

気を付けて、目を覚ましていなさい。その時がいつなのか、あなたがたには分からないからである。

創立 救主降誕1912年(大正元年)11月2日

(マルコによる福音書 13:33)

主が知らせてくださった
出来事を見に行こう

司祭 グレース 神崎 和子

天使が、野宿しながら夜通し羊の群れの番をしていた羊飼いに現れ、救い主の誕生を知らせます。この出来事はイエス誕生の場所から離れた所で、しかも羊飼いに對して示されました。羊飼いは当時尊敬されたとは必ずしも言えない人々でした。いやそれ以上に蔑まれてさえたのです。それは、羊飼いたちが、当時のフアリサイ派の宗教規定によれば、「汚れた」生活をしていた人々だったからです。しかし、真つ先に、その彼らに救い主の誕生が、天使から告げ知らされたのです。この出来事は何を示すのでしょうか。

実は、この出来事の本当の意味は、すぐには分からなかったのです。その出来事が起こったその時点では、すべてが羊飼いに分かっていたわけではありません。

けれども、彼らは急いで出かけました。彼らは自分を超えた力を信じて、身をゆだねて、急いで行

くのです。そしてその時はじめて救い主の誕生を目の当たりにするのです。

羊飼いたちは、天使のみ告げをたよりに探しました。そして宿の中ばかりではなく、馬小屋まで捜しに捜して、やっと見つけ出したのです。神の業を聞いて信じ、そして訪ねあてる時、はじめて救い主に出会えるのです。

救い主は二千年前にお生まれになったわけではありません。この現代社会の中でも、なかなか見つけられない「現代の飼い葉桶」に寝かされているのです。み告げを聞いて信じて、訪ねあてた時、私たちの内にもクリスマスが再びやって来ます。

今年も気候変動の中、九州豪雨による被災者、東日本大震災、熊本地震などの被災者、これら寒さの中にあつて、仮設住宅で不自由な生活を送っている方々の中にクリスマスはやってきます。大都会の片隅で、孤独に生きる方々の中にクリスマスはやってきます。

そこにひっそりと誕生された救い主に会いに出かけましょう。クリスマスおめでとうござい
ます！

12月～1月の予定

◆12月	25日(日)	降誕日
	26日(火)	最初の殉教者聖ステパノ日
	27日(水)	福音記者使徒聖ヨハネ日
	28日(木)	聖なる幼子の日
	29日(金)	主教トマス・ベケット
	31日(日)	降誕後第1主日
◆1月(2018年)	1日(月)	主イエス命名の日
	6日(土)	顕現日
	7日(日)	顕現後第1主日
	8日(月)	主イエス洗礼の日
	9日(火)	1月逝去者記念聖餐式
	13日(土)	聖書に学ぶ会(旧約) 主教ヒラリー
	14日(日)	顕現後第2主日
	16日(火)	聖書に学ぶ会(新約) 修院長アントニオ
	17日(水)	聖書に学ぶ会(旧約) 聖書に学ぶ会(旧約)
	19日(金)	殉教者主教フアビアン
	20日(土)	顕現後第3主日
	21日(日)	殉教者おとめアグネス
	22日(月)	殉教者執事ビンセント
	25日(木)	使徒聖パウロ回心日
	26日(金)	聖パウロの協力者聖テモテ・聖テトス
	27日(土)	主教教会博士ヨハネ・クリンストム
	28日(日)	顕現後第4主日
◆2月	2日(金)	司祭教会博士トマス・アクィナス
		被献日
		聖書に学ぶ会(旧約)

婦人会だより (10月)

11月19日(日)、愛餐会後、出席34名。聖歌452番をうたい、神崎司祭のお祈りにて始まる。

かねてより懸案事項であった婦人会の存続に関する話し合いを持ちました。結果、婦人会としての活動はゼロに戻し、会費など会計がお預かりしている預金は教会会計へ献金として捧げることが、出席者34人中27人の賛成で承認され決定いたしました。原点に戻ったところから今の三光教会に求められるものを神様のお導きの中で生み出していったらと考えています。皆様からの御意見はまとめ、12月の婦人会にて報告と相談をしてみたいです。神崎司祭のお祈りにて閉会。(記・五十嵐真知子)

神への思い

黒田フミ子

ここ数年、私は数々の艱難に見舞われました。傍からみると、厳しい状況下にはいますが、だからこそ改めて気付いたこともあったように思います。ことの発端は2012年。心筋梗塞で倒れ生死をさまよい、追いつけかけられるように、一昨年は大たい骨を複雑骨折。成

功率は半々という大手術を受けました。幸い手術は成功したものの、骨折を機に、以前のように歩けなくなってしまうました。

もともと、私はダンスが趣味で、教会の姉妹とタンゴなどを通して、交わりの時を共にするのが楽しみでした。ダンスもできず、友人とも徐々に疎遠になります。そして、何よりも私にとって辛かったのは、教会に通えなくなってしまうことです。

私の育った家庭は両親が聖公会の信徒、伯母は婦人伝道師であったことから、幼い時から家族で教会に通うのが当たり前のことでした。長い期間、教会に通えないのは生まれて初めてのことで、みんなから忘れ去られてしまうのではないかと戸惑いもありました。痛みとともに、心に不安が影を落とすとき、私を支えたのは祈りだったと思います。幼い時、両親や伯母は「どこにいても、神様はあなたの祈りを聞いている」と教えてくれました。

そんなある日、周りの協力を得て、車椅子で教会に行くことができました。礼拝後には、しばらく会えなかった友人が近寄って、私に話しかけてくれます。そこには

皆の笑顔があり、ずっと教会にこない私を温かく迎えてくれました。教会には頻繁に足を運ぶことができませんが、教会の皆とは心で繋がっているんですね。そして、神様はいつもそばにいてくださる。久しぶりに教会に行き、改めて感じる事ができました。――

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。
●礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
●わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、毎朝 6:30 の早祷に引き続いて聖餐式